

電気電子工学委員会 デバイス・電子機器工学分科会（第26期・第5回）議事要旨

1. 日 時 : 令和7年9月17日(水) 9:00～11:00
2. 場 所 : 遠隔会議（主催会場：大阪大学 森委員研究室）
3. 出席者 : 大橋弘美、田中雅明、中村卓司、青砥なほみ、荒井滋久、井上弘士、國分泰雄、谷本明佳、
為近恵美、中野義昭、西澤典彦、西山彰、藤島実、松尾慎治、森勇介、若林整
4. 議 事 :
 - (1) 前回議事要旨の確認
前回議事録を確認した。
 - (3) シンポジウム開催に向けた企画案について
 - 目的とテーマ:
シンポジウム案“半導体技術を活用した共感力向上プログラムの構築”をもとに議論。
 - 議論内容:
電気電子工学委員会にて、半導体産業の重要性、博士課程の重要性などを訴えるシンポジウムは実施してきたが、継続的な議論構築が形成できなかった点が反省点であることを踏まえ、今後継続的に議論できるテーマを模索した結果、現代社会の大きな課題に対する半導体技術というテーマとなった経緯を委員長から説明された。
上記提案に関して、多くの委員から賛同をいただいた。
特に、現代社会の大きなテーマ“ウェルビーイング”に対して、手助けできるか、という観点で、学術的俯瞰性を高めることを重視し、多様な視点を持ち込むシンポジウムとなることが期待されるという意見が多かった。
多くの聴講者を得るためにも、学会（応用物理学会、電子情報通信学会など）との両主催で、行うこと、学会との協力関係を強化する期待の意見も寄せられた。
 - 開催方法:
オープン参加形式を採用し、多様な層の参加を目指す。
学会との共催も検討することとなった。
 - (4) 結論
幹事団で春開催を目指し、具体化することとなった。

以上